

くすのき

第23号

平成27年2月13日(金)



[校長室のシクラメンです]

助産師による命の授業(4年)実施

1月29日(水)

1月29日(水)3, 4校時に、生命誕生の仕組みや生命の連続性に気づき、生命の尊さを自覚すること、次のようなねらい・目的で、講師として助産師の町田八重子さんと妊婦である麦倉さんに来校していただき、命の授業を4年生で実施しました。

ねらい・目的

- ・生命誕生の仕組みや生命の連続性に気づき、生命の尊さを自覚する。
- ・自他の生命を大切にしていこうとする心情や態度を育てる。



[赤ちゃん人形の抱っこ体験]

4年生の子ども達は、赤ちゃん人形の抱っこ体験やおんぶ体験をしたり、講師の先生の話や妊婦さんのご主人からのメッセージなどを聞いたりしました。これらの学習によって、生命の大切さや自他の生命を大切にしなければいけないこと、家族からの深い愛情に包まれて今日まで成長してきたことなどを感じ取ることができたと思います。以下は、4年生の子ども達の代表の感想文です。



麦倉さん、助産師さんへ

1組 逆井 知央

私は、1月29日の命の授業でお母さんの今までの大変さ、その気持ちを改めて実感しました。また、命の大切さを勉強したとき、助産師さんのお話を聞いて自分が思っていた以上に大切だと感じ、自分の命を大切に無駄にしないで生きようと思いました。

人間の体の仕組みについて聞いているとき、「卵子」や「精子」という言葉が出てきました。私は二つの言葉を聞いたことはありませんでしたが、意味は分かりませんでした。卵子は、「卵に子ども」という漢字なので、この前まで「卵の子ども」や「卵を作る元」なのかなと思っていたのです。

私と友達で麦倉さんを校長室までお送りするとき、一人の友達が「ちいちゃん、泣いてたの」と言うと、麦倉さんは私に、「ちいちゃん最高!!」と言って下さったので元気になりました。ありがとうございました。3, 4月に元気な男の子を産んで下さい。今度会ったとき、もしよければだっこさせて下さい。お元気で!

[お二人からのお話です]

町田先生へ

2組 井上 琉楓

ぼくは、今日の3, 4時間目に生きている大切さを学びました。精子は3億個もあるのに、最後には1個だけになるのを聞いて、びっくりしました。

町田先生がいろいろな赤ちゃんに会ってきたということを知り、色々な赤ちゃんがいるんだなあと思いました。ぼくのお母さんも、おなかに妹や弟がいるときには、もう一人の家族が増えるので、わくわくしていました。そして、生まれたときはすごくうれしかったです。前に、お母さんにへその緒を見せてもらいました。そのへその緒は、箱に入れて大切に持っていました。

今日は、改めて生きていることの大切さを学ぶことができました。本当にありがとうございました。

「命の授業」をうけて

3組 平田 奈津実

私は、妊婦さんと助産師さんに命の大切さを教えてもらいました。

妊婦さんのおなかを見たらすごく大きかったです。「お母さんもこんなに大きかったんだなあ。」と思いました。そして、へその緒は赤ちゃんの首にまきついたりして、赤ちゃんが死んでしまうときがあると聞いて、私は運がよかったと思いました。

最後に、妊婦さんが一番大変なことは、靴下や下に落ちたものをひろうときです。なぜかというと、おなかが大きくてしゃまをするからです。もし、大変そうな妊婦さんがいたら、助けてあげたいです。



[お二人に歌のプレゼント]

学校評価の結果が出ました

1月に実施した第2回学校評価の結果が出ました。詳しい結果は、別刷り資料の「学校評価集計表」をご覧ください。保護者の皆さんと子ども達に対して実施したアンケート(第1回7月、第2回1月)の結果から、「よく当てはまる」「やや当てはまる」の合計の数が全体で80%以上なら、おおむね満足と考えます。第2回保護者、子ども達のアンケートでは、ともに17の質問項目中13項目で、おおむね満足という結果でした。

例えば、「子どもが授業が分かる」と答えている結果は、保護者も子ども達も86%でした。子ども達が授業で頑張って授業内容を理解している子が多いととらえています。

同じように、「子ども達が進んで挨拶や返事ができる」と答えている結果は、保護者が84%、子ども達は90%でした。しかし、挨拶については、疑問点があって10日に行った朝会の中で子ども達に投げかけてみました。代表委員が「朝の挨拶運動」の結果を給食の時間に発表してくれていますが、「朝、代表委員よりも早く挨拶ができた人の数は、平均230人です。」と言っています。でも、蕪小の子ども数は現在515人ですから、かなり少ない結果です。そこで、子ども達には、「今日起きてから教室に入って席に着くまで何人に進んで挨拶をすることができましたか?」と問いかけ、大切な挨拶ですから、いつでも挨拶ができるようになるといいですね、と伝えました。

ここで、第2回目学校評価アンケートで、「よく当てはまる」「やや当てはまる」の合計数(%)で80%に達しなかった項目を紹介します。

質問項目	保護者	子ども
① 学年×10分以上の家庭学習の時間	74%	74%
② 家での30分以上の読書の時間	24%	39%
③ 進んでお手伝いができる子どもの数	71%	83%
④ 週3日以上体を動かして運動したり遊んだりしている子どもの数	80%	77%
⑤ 将来の夢や希望について親子で話し合っている数	79%	79%

この結果について、職員会議で話し合っ改善策を考えました。この後、蕪小地域の役員の皆様に、学校関係者評価として、結果とその改善策をお示ししてご意見をいただきます。そして、今後、本校の学校教育目標である「くすのきのように、心豊かに、たくましく生きる蕪っ子の育成」を目指し、学校全体で改善できるように取り組んでいきたいと思ひます。

2年ぶりの金管バンド発表会、 がんばりました 2月7日(土)

昨年度の大雪で中止になった2年間の思いの詰まったすばらしい発表ができました。インフルエンザや風邪の心配もありましたが、3~6年生の46名全員が発表できました。「ゲラゲラポーの歌」、「金管バンドのためのウェールズの歌」2曲を演奏し、広いエアリスホールにきれいな音が響きました。応援いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



[6日の音楽集会で全校に披露]

朝会で「いじめ防止子ども会議」の発表

1月20日(火)に行われた「太田地区いじめ防止こども会議」に、本校の代表として参加してくれた6年1組の曾田夕葵奈さんから、朝会で感想と決意を発表してもらいました。北中、城東中ブロックで、いじめのない学校や学級を作るために「ひとりぼっちやいじめで困っている人に、一人ひとりが声かけをしていきます。」と行動宣言をしっかりと発表してくれました。今後、本校で具体化させていきたいと思ひます。



[朝会で発表した曾田さんです]